

NO. 373
2018.4

CENTER NEWS



目 次

若い世代に夢を与える存在に～関西地質調査業協会の取り組み～

ハイテック株式会社 小宮 国盛	1
1 月定例理事会	3
2 月定例理事会	4
NEW FACE 林 俊平	5
ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金 「ご活用を検討しては如何ですか!」 補助金・助成事業のページ	6
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話	7
編集後記	8

表紙説明

勝鬨橋（かちどきばし）は、東京都中央区にある隅田川に架かる橋。晴海通り（東京都道304号日比谷豊洲埠頭東雲町線）が通る。

日本で現存する数少ない可動橋（跳開橋）であるが、1980年に機械部への送電を取り止めており、可動部もロックされ、跳開することはない。

近年、再び跳開させようとの市民運動や都・一部都議の動きはあるものの、機械部等の復旧に莫大な費用（東京都の試算では約10億円）がかかることや多数の道路交通量があることから、実現の目途は立っていない。

明治期より架橋の計画は何度かあったものの実現せずにはいた。1905年（明治38年）1月18日、日露戦争における旅順陥落祝勝記念として有志により「勝鬨の渡し」が設置された。

築地と、対岸の月島の間を結ぶ渡し舟である。埋め立てが完了した月島には石川島造船所の工場などが多く完成しており多数の交通需要があったことで、1929年（昭和4年）「東京港修築計画」に伴う4度目の計画で架橋が実現した。

1998年より夜間にライトアップが行われている。

2007年6月18日、都道府県の道路橋として初めて、清洲橋・永代橋と共に勝鬨橋が国の重要文化財（建造物）に指定された。

引用：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8B%9D%E9%AC%A8%E6%A9%8B>

（平松 記）



若い世代に夢を与える存在に ～関西地質調査業協会の取り組み～

ハイテック株式会社

小宮 国盛

私は関西地質調査業協会の理事長を昨年の5月にお引き受けし、国の方針である「国土強靱化」という大目標のもと、信頼される地盤調査の専門集団として今後どうあるべきかを考え、協会運営に取り組んでいるところです。

関西地質調査業協会は1957年（昭和32年）に発足し、地質調査の専門集団「地球のお医者さん」として、関西の経済活動の基盤となるインフラ整備や災害対策に貢献して参りました。発足当初の会員数はわずか10社でしたが、社会の激動の波に揉まれながらも一時は100社を超えるまでに成長しました。しかし、近年は会員数が減少の一途を辿り、現在は66社にとどまっています。

ご存じのように地質調査業を取り巻く環境は、大変厳しくなっています。とりわけ、少子高齢化による若手人材の不足、一般市民の認知度の低さ、低価格入札に起因する地質調査業の存在意義の低下が深刻な問題として突きつけられています。また、将来必ず発生する南海トラフ地震や近年増加傾向にある豪雨災害に対して、地質調査業が果たすべき役割は大変重要です。

私はこうした課題や現状を踏まえ、協会の体制強化と会員数の増加、地質調査業の認知度の向上を目指したいと考えています。これらを実現するため、守るべきは守り、改革すべきは改革するといった市民目線に沿った協会運営に全力を尽くしていきたいと思っています。

しかし、こうした取り組みや協会運営を進めていく上での一番の難題は何といても人材不足です。若い世代に注目され、夢を与える業界になるために私たちはどのように行動していかなければならないかを真剣に考えていかなければなりません。

まずは職場環境の整備が必要不可欠です。若者が魅力を感じる職場となるよう、現場作業員の隔週土曜日休み制度の導入を進めると同時に、発注者に対しては勉強会や意見交換会を通して発注のより一層の平準化や適正な工期と価格の設定をお願いしていきます。

また、このような現実的な取り組みに加え、若者に夢のある業界であることをアピールするために、最先端技術を取り入れた調査・解析技術の高度化と新技術の開発を積極的に行う必要があると思っています。具体的には建設業界で取り組み始められているCIMに対応した地盤調査結果の見える化（3次元化）やAIを見据えた地質調査や土質試験の自動化の実現などが挙げられます。さらに、幅広い視野を持って新たに地質調査業が活躍できる場所や分野を開拓していくことも重要であると考えています。

関西地盤環境研究センターの理念は「組合員に、業界に、社会に、なくてはならない存在になる」とお聞きしています。今やセンターは、組合員のみならず関西地質調査業協会会員各社にとってもなくてはならない土質・岩石試験の専門機関であることは自他ともに認めるところであると思います。今後もなくてはならない存在であり続けるためには、次世代を担う若い技術者に夢を与える存在にならなければなりません。お互い将来を見据え、切磋琢磨していこうではありませんか。



平成30年1月26日（金）14時00分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事9名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
12月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 12月分事業報告の件
- 3) 平成29年度第3四半期（4月～12月）実績報告の件
- 4) その他の件

【審議事項】

- 1) 第38期通常総会開催日時及び開催場所の件
- 2) 平成29年度決算予測の件
- 3) 賃金関係について
- 4) 環境部門の件
- 5) 委員会の件
- 6) ものづくり補助金の件
- 7) その他の件
 - (1) (一社) 全国地質調査業協会連合会からの協力依頼について
 - (2) (一社) 関西地質調査業協会広報誌（GEO）広告依頼の件

平成 30 年 2 月 23 日（金）13 時 00 分より、ガーデンシティクラブ大阪会議室において、理事 10 名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
1月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 1月分事業報告の件
- 3) その他の件
 - (1) 組合行事開催予定の件

【審議事項】

- 1) 平成 29 年度利益予想の件
- 2) 賃金関係について
- 3) 委員会について
- 4) 賛助会員脱退申出の件
- 5) 創立 40 周年記念事業について
- 6) その他の件
 - (1) 組合持ち分について

☆ お知らせ ☆

第 38 期通常総会

- 開催日時：平成 30 年 5 月 29 日（火）15 時 00 分から
- 開催場所：大阪キャッスルホテル

NEW FACE

地盤技術室 林 峻平



関西地盤環境研究センターに入所した地盤技術室の林 峻平です。昨年8月からセンターにアルバイトで勤め、この度正職員になりました。

都島工業高等学校卒業後は、大阪市のゼネコンに2年ほど勤めていました。そこでは河川の地盤改良や鉄道、下水道のインフラ整備の工事現場の監督補助を行っていました。現在21歳です。

月日が経つのは早いもので、入所して半年が矢のように過ぎていました。新しい業務、経験の連続で本当にあっという間の時間でした。

センターで行っている試験は前職で幾度か利用したことがあるのですが、恥ずかしい話以前は試験の合否ぐらいしか気にしておらず試験の中身についてはそこまで気にかけていませんでした。土質試験は、こういった仕組みで試験を行っていたのか、と今になって理解し興味が湧きました。

新しい業務をひとつずつ学び、試験をこなしていくのはやり甲斐があり、これまでとは別の達成感を覚え非常に充実した仕事生活を送っています。また以前の仕事は工事現場ということもあり力仕事も多かった為に疲労が激しかったのですが、室内作業が主な今は体力が有り余って私生活にも余裕ができてきました。

そんな体力が有り余っている私生活ですが別段これといって体力を使う趣味もありません。幼いころから読書が趣味の根っからのインドア派でした。以前まで休日は体を休ませるためのものと自宅で日がな一日寝ているだけで、ときたま思い出したように自転車で遠出するぐらいのものでした。

しかし今は体力が有り余っている為その発散先に何かないと趣味を模索しています。

今後の目標としましては、仕事を辞めこれからどうしようか、と悩んでいた時にセンターに誘っていただいた恩を返すべく、皆様の期待に応えられるよう、センターの一員としてより一層責務に励んでいく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



「ご活用を検討しては如何ですか!」

『平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金』の公募が発表されました。

【公募のご案内】

平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金

【受付期間】 平成30年2月28日(水)から 平成30年4月27日(金) / 当日消印有効
 【事業期間】 交付決定日から 平成30年12月28日(金)迄 (小規模型は平成30年11月30日(金)迄)

事業の目的・概要

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者が取り組む、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。

対象類型と補助上限額・補助率等

対象類型	【革新的サービス】	【ものづくり技術】
基本要件	「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスを改善する事業	「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスを改善する事業
	3～5年計画で、「付加価値額」年率3% 及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること	
一般型	<ul style="list-style-type: none"> 概要：中小企業等が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援 補助上限額：1,000万円 補助率：1/2以内 ※生産性向上特別措置法(案)に基づく「先端設備等導入計画」(注1)の認定、又は経営革新計画(注2)の承認を取得して一定の要件を満たすものは補助率：2/3以内 設備投資が必要 対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 	
小規模型	設備投資のみ	生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限額を30万円の増額が可能。
	試作品開発等	
企業間データ活用型	<ul style="list-style-type: none"> 概要：複数の中小企業等が事業者間でデータ・情報を活用し、連携体(注3)全体として新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクトを支援 補助上限額：1,000万円 補助率：2/3以内 設備投資が必要 対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 	

注1:「先端設備等導入計画」は、補助事業者が固定資産税の特例率をゼロの措置をした市町村の認定を受けた計画を示します。

注2:「経営革新計画」は、平成29年12月22日の閣議決定後に新たに申請し承認を受けた計画を示します。

注3:連携体への参加事業者数は10者まで。なお、個ごとの補助上限額である1,000万円に加え、200万円に連携体参加数を乗じて算出した額を上限に連携体内で配分可能です。また、「革新的サービス」、「ものづくり技術」をまたぎ連携も可能です。



■ 公募要領・申請様式は、「大阪府中央会」のホームページをご覧ください。 <https://www.maido.or.jp/>
 申請書の提出先は、「大阪府地域事務局」です。なお、受付は「郵送」のみの受付となりますので注意下さい。

= 申し込み・お問い合わせ先 =

大阪府中小企業団体中央会
ものづくり中小企業支援室
〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-5
マイドームおおさか 5階

TEL **06-6947-4378** FAX: 06-6947-4379
 問合せ時間：10:00～12:00 13:00～17:00/月～金(祝日除く)

* 詳しくは各府県の中小企業団体中央会ホームページでご確認下さい。

こんな時代だから、 ちょっと心に残る良い話

久々に、このコーナーを記載してみたいと思います。NHK での大河「西郷どん」に因んで、西郷隆盛の名言を記載したいと思います。
お暇なときに一読してみてください。

(稲田 記)

正道を歩み、正義のためなら国家とともに倒れる精神
がなければ、外国と満足できる交際は期待できない。
その強大を恐れ、和平を乞い、みじめにもその意に従
うならば、ただちに外国の侮蔑を招く。
その結果、友好的な関係は終わりを告げ、最後には外
国につかえることになる。

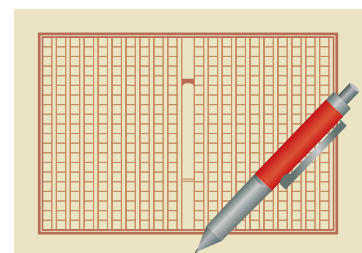
西郷 隆盛

ちよつといい話大募集！

日々の生活の中で、心に残るようなうれしかったことはありませんか。

あなたにかけられた「やさしい言葉」や、思いがけない「親切な行為」など、周りの人が心温まるような出来事やお話を「ちょっといい話」として募集します。

- 原稿様式：word で A4 用紙 1 枚程度
- 原稿の送付先：info@ks-dositu.or.jp までお願いいたします。



編集後記

毎年4月は新入生や新入社員が通勤時間に見られる季節ですね。
この時期になると気持ち的に「初心忘るべからず」になります。当センターにも2名の新入職員が入り、新しい風がセンターに吹くことを願います。
また、今月号のセンターニュースでもご紹介をしております。一読をしてみてください。
今年度も当センターをよろしくお願い申し上げます。

(稲田 記)



組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50音順)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アスコ大東	(06)6282-0310	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
株式会社 関西地質調査事務所	(072)279-6770	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	株式会社 日建設計シビル	(06)6229-6372
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6932-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 白浜誌録	(0739)42-4728	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

【賛助会員名簿】

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター
 〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
 TEL 06-6827-8833 (代)
 FAX 06-6829-2256
 e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編集 広報関連委員会
 編集責任者 中山義久
 印刷 千里丘印刷

<http://www.ks-dositu.or.jp>



モノレール南摂津駅より徒歩約15分 JR岸辺駅よりタクシーで約10分 阪急正雀駅より徒歩で約25分



協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3
 TEL.06-6827-8833(代表)
 FAX.06-6829-2256(地盤技術室)
<http://www.ks-dositu.or.jp>

ISO9001認証取得

計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号
 環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)